

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 ヨータイ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 597-0093 大阪府貝塚市二色中町 8-1	
本票作成	部署名：吉永工場 製造部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	耐火れんがの製造 令和元年度生産量 79.93千t (県内工場) 従業員数363名 (県内)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日生工場		備前市日生町日生 2 6 0 1	
	②	吉永工場		備前市吉永町南方 1 2 5 0	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	36,626 t CO <sub>2</sub>			35,527 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	日生工場		25,105 t CO <sub>2</sub>					
	②	吉永工場		11,521 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	日生工場、吉永工場の生産量の合計		基準年度	目標年度
			458 t CO <sub>2</sub> / ( 千/t )	444 t CO <sub>2</sub> / ( 千/t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

昨今の経済情勢と県外工場の生産状況などから、県外工場を含む工場間での生産品目の移管、集約などが考えられ、県内工場の生産量の変化の予想が困難なため原単位基準を選択した。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

各工場に省エネ推進担当者を設置し、その統括として常務取締役をトップに、エネルギー関連担当者（吉永工場製造部主席）を取りまとめ役として推進。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
日生工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日生工場の温室効果ガス排出の主な設備であるトンネルキルン2基を平成11年と14年に更新。CO2削減量約7,300 t/年。</li> <li>・ 平成30年にボイラーの使用を取りやめ、電気式熱風発生器に変更。CO2削減量約320 t/年。</li> <li>・ 省エネタイプ照明への変更。CO2削減量約80 t/年</li> </ul>
吉永工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成12年にトンネルキルンを2基から1基に集約した。CO2削減量約1,500 t/年。</li> <li>・ インバーター式コンプレッサーへの更新。CO2削減量約15 t/年。</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
日生工場	今後の実施事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネタイプ照明への変更（順次実施中）</li> <li>・ バッチキルンでの焼成を原単位が良い他工場への焼成に移管を進める（実施中）</li> <li>・ 乾燥設備の断熱化（検討中）</li> <li>・ 不定形の製造工場の見直し、集約</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水銀灯をLEDに変更（順次）</li> <li>・ CO2排出量が少ない不定形・不焼成製品の生産比率の向上</li> <li>・ 断熱シート施工による熱風炉熱損失低減（資材手配済）。</li> </ul>
吉永工場	

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

エンジニアリング事業部、技術研究所、岡山支社は日生工場内にあるため日生工場に含んでいます。